

2021-22年度 地区補助金プロジェクト申請一覧

NO.	クラブ	MOU	プロジェクト内容	対象	総額	クラブ 拠出額	その他 拠出額	補助金 申請額
1	仙台宮城野	○	交通事故被害者支援事業 宮城県内の交通事故で親を亡くした子供たちや、事故によって重傷を負い車椅子生活を余儀なくされている方々を、プロバスケットボールの試合に招待し、楽しい時間を過ごして頂くとともに、仙台のプロバスケットボールチーム仙台89ERSを応援したい。	宮城県内の交通事故で親を亡くした子供たちや事故によって重傷を負い車椅子生活を余儀なくされている方々	300,000	102,000	0	198,000
2	盛岡	○	「落語を味わって、心に栄養を！」 盛岡市内の「子どもの居場所ネットワークいわて」加入団体の事業に参加している子どもたちへ、本物の日本の伝統芸能を鑑賞することにより「心の栄養」としてもらいたいと考えて、この落語会を開催します	盛岡市内の「子どもの居場所ネットワークいわて」加入団体の事業に参加している子どもたちとの保護者	800,000	400,000	0	400,000
3	二戸	○	漆の林づくりサポート事業 市と「漆の林づくりパートナー協定」を締結する二戸ロータリークラブの「漆の林づくりサポート事業」の一環として、ウルシ苗木の植栽活動を支援する。	一般市民	300,000	50,000	0	250,000
4	石巻西	○	「カフェを通じた障がい者等の就労支援とSDGs」のための環境支援 障がい者就労支援B型事業所ベーカーリーカフェ「パーラー山と田んぼ」に空気清浄機付エアコンを設置し、コロナ対策もしつつ、就労困難な障がい者等の良好な就労支援環境を作り、コロナ禍でも事業継続の維持を行う。	施設利用者・施設職員・他石巻圏内の障がい者	649,000	200,000	0	449,000
5	盛岡南	○	タブレット授業補助プロジェクト 学校の授業にもタブレットが導入されている中、市内でも生徒数が多い中学校であるが、授業に使用する備品関係が不足している現状にある。盛岡南RCの社会奉仕事業として、不足備品を寄贈する事とした。	盛岡市立仙北中学校生徒	200,000	100,000	0	100,000
6	仙台南	○	学校関係者を新型コロナウイルスバスター感染症から守るための環境づくり 非接触体表面温度測定器(サーマルカメラ)の学校等への導入を支援することで、未来を担う子供たちとその職員たちを新型コロナウイルス感染症から守り、かつ安心安全な教育現場を支援することを目的とする。	社会福祉法人想伝舎・学校法人常盤木学園・学校法人赤門宏志学院生徒・教職員	2,880,000	1,440,000	0	1,440,000
7	大船渡	○	大船渡前教育長今野洋二氏著「3.11からの教育復興」配布事業 3.11震災経験者である当時の教育長による体験等記載された本を、今後地震や津波が来るであろう地域へ無料配布し、災害直後の動向などを参考頂き、もしもの備えとして活用して頂きたい。	日本海溝千島海溝及び南海トラフ地域被害想定地域教育委員会及び児童	1,023,800	223,800	0	800,000
8	古川東	○	障がい幼児療育施設「大崎広域もなみ園」の療育環境向上化プロジェクト 同施設の全ての開口部には網戸がありません。これまでは、夏の冷房・冬の暖房は、換気機器等の利用により、幼児療育の時間帯の換気は不必要でしたが、コロナ感染予防の必要性から一日数回の開閉が必要となりました。しかし昆虫等の侵入があり障がい幼児が誤って口にするリスクが高まり、網戸の必要性に迫られました。また、障がい幼児が使用する安全な椅子・室内遊具の更新が望ましい時期を迎えている事から網戸と共に寄贈する事業を立案した。	「大崎広域もなみ園」利用の障がい幼児	700,000	350,000	0	350,000
9	大船渡西	○	「鎮魂愛の鐘」の移設・再建に係る設計及び電源工事 東日本大震災復興事業により撤去された「鎮魂愛の鐘」を移設・再建する際の設置個所の設計及び電源工事の費用の申請する(移設費用は、県及び市で予算化して頂く事で了解済。)	大船渡市民など	2,300,000	1,800,000	0	500,000
10	大河原	○	桜保育園応援プロジェクト 45年ぶりに新築建替えによる町内唯一の町立桜保育園に大河原町からの要望もあり、室内遊具を寄付する。	大河原町立桜保育園児	462,000	232,000	0	232,000
11	盛岡東	○	盛岡市内観光公園美化活動 盛岡市内観光を兼ねた主要公園の美化活動を行う。	盛岡市民及び県内外の観光客	316,720	158,360	0	158,360
12	石巻東	○	石巻の不登校児童生徒サポート事業 不登校になる要因は様々なため、個別に処遇計画を立て、一人ひとりにあった対応を行い、子供が社会に自立するためのサポートをする。	市内小学校から高校の不登校児童生徒	562,052	100,000	0	462,052
13	仙台	○	雄勝硯再発見プロジェクト 現在書道の授業では安価なセラミック製の墨入れを使用し地元の宝である雄勝硯に触れる機会が少ないため、その機会を作るとともに地元産業に興味を持つきっかけとしたい。また、墨を磨る体験から豊かな感性を育成したい。そして、宮城県内の子供たちが雄勝硯を使うことで需要拡大の起爆剤とし地域の産業支援を行いたい。	宮城県内被災地域の小中学生	1,800,000	1,000,000	0	800,000
14	岩沼	○	岩沼市内バス停に待合ベンチを贈るプロジェクト 岩沼RCが過去寄贈したバス停用ベンチの老朽化に伴い、危険なまま設置されているベンチを高齢者が安心して利用できるベンチが必要と考える。また、岩沼市制50周年を迎え、高齢者が安心安全に暮らせるまちづくりの一助とする。	岩沼市内バス利用者	726,000	366,000	0	366,000
15	岩沼	○	岩沼市内小中学校に加湿器を贈るプロジェクト 岩沼市内小中学校8校では、コロナ感染予防対策として各教室へ加湿器を随時設置しているが、特別教室等への設置は不十分との事から8校へ3ずつ24台を寄付する。	岩沼市内小中学校生徒	264,000	140,000	0	124,000
16	仙台レインボー	○	佐々木雅人氏のロータリー財団奨学生 個人投資家を対象とした無償教育プログラムの提供を通じた株主市場の民主化	佐々木雅人氏	700,000	200,000	9,300,000	500,000
17	柴田	○	コマづくり体験教室 町内企業による産業フェスティバル会場内で金属製コマキットによるコマを作成する教室を開催、しそこに集まった子供たちが楽しみながらものづくりに関する理解が深まると共に、将来若者自らがものづくり現場での就労等が実現できるようになることを期待する。	柴田町内の小・中学校等の児童・生徒	330,000	165,000	0	165,000
18	水沢東	○	児童を守る交通安全横断旗支援 小学校へグループ登校をしているグループリーダー・副リーダーが横断旗をもって安全に道路を渡れるようにしている。市役所・教育委員会との打合せから横断旗の要望があり決定した。また、横断歩道には立っている地区の交通安全委員も横断旗を使用して頂く。	奥州市胆沢地区小学校の児童	120,000	60,000	0	60,000